

大会名 Competition	第23回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-101	Year Month Day Time 2010 年 5 月 3 日 9 : 00
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B					
能代工高	<table border="1"> <tr><td>17 1st 25</td></tr> <tr><td>15 2nd 11</td></tr> <tr><td>19 3rd 16</td></tr> <tr><td>25 4th 15</td></tr> <tr><td>OT</td></tr> </table>	17 1st 25	15 2nd 11	19 3rd 16	25 4th 15	OT	興南高校
17 1st 25							
15 2nd 11							
19 3rd 16							
25 4th 15							
OT							
76 ○		67 ●					

主審:Referee 谷地 温 秋田県
副審:Umpire 茂泉 圭治 神奈川県
テーブル・オフィシャルズ:Table officials 能代商業

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4		熊 坂 兼	CAP	-	-	-	-	0	4	×	比 嘉 卓 斗	CAP	13	0	6	1	3
5	/	西 島 宏 哉		15	0	7	1	3	5	/	三 宅 力		0	0	0	0	1
6	×	笹 木 皓 太		10	2	2	0	1	6	×	伊 集 貴 也		18	2	5	2	5
7	/	秋 葉 真 司		0	0	0	0	0	7	×	平 得 文 士		8	0	3	2	4
8	×	志 水 一 希		3	0	1	1	0	8		渡 口 崇 秋		-	-	-	-	0
9		中 山 祐 樹		-	-	-	-	0	9		友 寄 邦 人		-	-	-	-	0
10	/	熊 谷 慎 也		0	0	0	0	0	10		屋 我 貴 秀		-	-	-	-	0
11	×	田 中 浩 喜		15	2	4	1	5	11	×	上 原 大 輝		17	2	5	1	3
12	×	溝 坂 太 成		3	0	1	1	2	12		寄 川 龍 功		-	-	-	-	0
13	/	伊 藤 健 太		2	0	0	2	1	13	×	嘉 数 潤 也		5	0	2	1	0
14	/	金 田 海 郷		0	0	0	0	0	14	/	鈴 木 裕 也		2	0	1	0	2
15	×	中 村 正 也		2	0	0	2	2	15		仲 村 兼 太		-	-	-	-	0
16	/	三 浦 基 貴		0	0	0	0	0	16		島 袋 大 輔		-	-	-	-	0
17	/	野 里 淳 貴		11	1	1	6	2	17		仲 西 智 彦		-	-	-	-	0
18	/	土 屋 真 人		15	4	1	1	3	18	/	満 島 光 太 郎		4	0	1	2	2
コ-チ		佐 藤 信 長							コ-チ		井 上 公 男						
ア-コ-チ		安 保 敏 明							ア-コ-チ		狩 俣 暢 史						
合 計				76	9	17	15	19	合 計				67	4	23	9	20

※ ×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

能代工業と興南との一戦で3日間の熱い戦いが幕を開けた。

第1ピリオドは両チームマンツーマンからスタート。序盤からお互い激しいディフェンスを見せる。興南は#6伊集がアウトサイドとインサイドでバランスよく点数を重ねる。能工も#11田中の3Pなどで攻めるも、中盤以降からパスミスによるターンオーバーが増える。興南がミスにつけこみ点差を広げ、17-25として第1ピリオド終了。

第2ピリオド序盤はお互いシュートがなかなか決まらず、我慢の展開となる。能工は#18土屋の3Pなど引き続きアウトサイドで得点を狙う。残り3分を切ったところで能工はディフェンスをゾーンに切り替え、興南のガードにプレッシャーをかける。ミスが続いた興南は残り1分半でたまたずタイムアウト。ディフェンスでがんばりを見せた能工が追い上げ、32-36で前半終了。

後半はお互いマンツーマンでスタート。しかし両チームとも疲れからかファウルが重なり始める。能工は選手を交代しながら中盤から再びゾンプレスをしかけ、追い上げを図る。対する興南も#11上原のジャンプシュートなどで追いつかれまいとするも、終盤に能工#5西島がインサイドで得点を重ね、51-52として第3ピリオド終了。

第4ピリオド、能工は序盤からゾンプレスをしかけ興南のミスを誘う。開始3分で能工#18土屋がスティールから速攻を決め、遂に能工がリードを奪う。興南はアウトサイドからシュートを試みるもなかなか決まらない。残り7分でここまで活躍の興南#6伊集がファウルアウト。その後も攻撃の手をゆるめない能工が追い上げる興南を振り切り、76-67として初戦を勝利で飾った。